

第4回システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会
議事録

日時：平成23年11月25日 15時～17時

場所：専売ビル 8F 会議室

出席者：高田（委員長：横浜国大）、中村（幹事：篠塚研究所）、宇治野（講演者：宇宙航空研究開発機構）、新谷（福井大）、吉川（東京都市大）、植竹（講演者：東京電力）、大嶋（千代田アドバンスト・ソリューションズ）、大谷（IHI）、境（ハザマ）、村地（構造計画研究所）、馬場（日本上下水道設計）、静間（篠塚研究所）（敬称略）
計12名

配布資料：1) 宇治野氏（宇宙航空研究開発機構）発表スライド
2) 植竹委員（東京電力）発表スライド

内容：話題提供1) 「ロケット打ち上げにおける信頼性維持活動」

宇治野氏（宇宙航空研究開発機構、以降 JAXA）より、ロケットの打ち上げに関し、設計・検査ミス、コスト・スケジュールオーバーラン、人材育成等の失敗を起こさないための信頼性維持活動として、JAXA が具体的にどのようなことを行っているか、失敗事例とともに紹介があった。ロケット1機あたりのコストが高く、ハードウェアやシステムなどは飛行実績（経験）が特に重要とされているため、機器故障などにより破壊措置がとられるような失敗は問題となる。

話題提供2) 「地下構造に基づく地震動の空間変化 — 柏崎刈羽原子力発電所の観測事例から —」

「2011年東北地方太平洋沖地震による東京湾岸地域の長周期地震動」

植竹委員（東京電力）より、新潟県中越沖地震における柏崎刈羽原子力発電所敷地内での強震観測記録について、発電所北側と南側で振幅が大きく異なり、地下構造、特に地震基盤より浅い部分の不整形の影響が大きいことが報告された。また、東北地方太平洋沖地震による長周期地震動について、東京湾岸地域での各種スペクトルの卓越周期等といった特徴に関する報告があった。

今後の予定：次回は3月14日15:00～を予定。

以上